

青年総合相談Q & A (28)

Q 19 才の男子です。大学附属高校に入学できたので、この先は入試の心配もなく、親として安心していましたが、高 3 の夏から学校をさぼり始め、結局大学の進学試験を受けずに、進路が決まりませんでした。学校以外に友達が多いらしく、夜な夜な外出します。普通の社会人にならない気がして心配です。

A 息子さんが家族と雑談ができるなら、話の中で息子さんがどんなことに興味を持っているのか、聞いてみましょう。息子さんが家族を避けて、話さないようだったら、まずは子どもの頃のように、雑談ができるように関係性を改善しましょう。息子さんを問い詰めたり説得することは逆効果です。

子どもは進路や将来について親に話しにくく、親が敷いたレールに乗っていることに抵抗がある人もいます。一方、親は子が大学を卒業して、普通に就職してほしい、と思っていることが多く、子どもの考えと大抵合いません。ここでお互いに交渉できれば、歩み寄りができるのですが、親は親の考える子どもの幸せを押し付けがちになり、子どもは全力で反発するためとても難しいのです。

お母様がおっしゃった「普通の社会人」とはどんな社会人ですか。親世代の普通と子ども世代の普通は、相当様子が違います。社会の変化はめまぐるしく、親世代には理解できないことが今は普通だったりします。息子さんが良くないことをしているのではないかと決めつけず、息子さんの日常生活に興味を持って、ぜひ、お母様から歩み寄って下さい。初めは素直になれなくても、お母様が自分を否定しないとわかれば、息子さんは話してくれるようになりますよ。